

新下水道ビジョン（仮称） 目次（案）

はじめに

第1章 総論

第2章 我が国のインフラのあり方を左右する社会経済情勢の変化

1. 人口減少・節水型社会の進行による水インフラ需要の減少
2. 財政状況の変化によるインフラ関係投資・公務員数の制約
3. インフラの老朽化、大規模災害の発生リスクの増大
4. 豊かな水環境への希求、気候変動によるゲリラ豪雨・渇水等の頻発
5. 水、資源、エネルギーのひっ迫
6. ICTなどイノベーションの進展
7. 世界の人口・経済成長による水ストレスの増大と水ビジネス市場の拡大

第3章 21世紀社会における下水道の使命及び長期ビジョン

1. 21世紀社会における下水道の使命
 - (1) 持続的発展が可能な社会の構築に貢献（サステナブル）
 - (2) 安全・安心な社会構築に貢献（レジリエント）
 - (3) 循環型社会構築に貢献（ネクサス）
 - (4) 新たな分野に貢献（イノベーション）
 - (5) 国際社会に貢献する（グローバル）
2. 長期ビジョン
 - (1) 「循環のみち」の持続
 - (2) 「循環のみち」の高度化
 - (3) 「循環のみち」の貢献拡大

第4章 中期的施策展開

1. 下水道施策の現状と課題 及び中期目標と具体施策
 - (1) 「循環のみち」の持続
 - 1) 現状分析
 - 2) 中期目標と具体施策
 - ①人・モノ・カネの持続可能な一体管理（アセットマネジメント）の確立

②非常時（地震・津波・豪雨等）のリスクマネジメントの確立

(2) 「循環のみち」の高度化

1) 現状分析

2) 中期目標と具体施策

①水・資源・エネルギーの集約・供給拠点化

②ゼロエミッション型下水道システムの構築

③汚水処理・雨水排除機能の効率化・高度化

(3) 「循環のみち」の貢献拡大

1) 現状分析

2) 中期目標と具体施策

①他産業との連携によるイノベーション

②下水道産業の活性化・成熟化

③世界の水と衛生、環境問題解決への貢献

④下水道への国民理解の醸成

2. 施策展開の視点

おわりに